

# 熊本県で開発した新技術

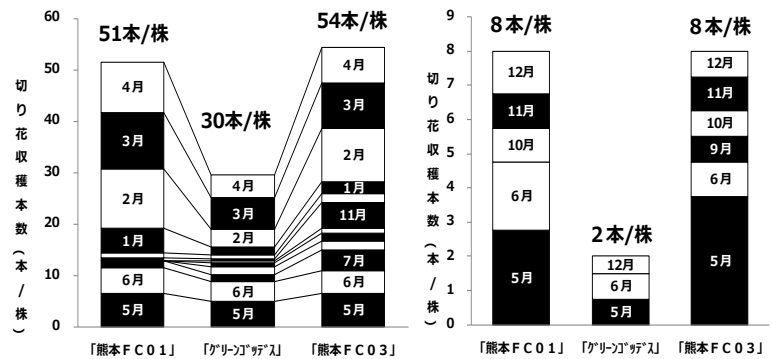
熊本県農業研究センター

2022

## グリーン系湿地性カラー新品種「熊本FC03」の特性



左：「グリーンゴッデス」  
右：「熊本FC03」



### 問 研究のねらいは？

答 熊本県は、湿地性カラーの生産量が全国2位です。特にグリーン系は、全国流通のほとんどが八代産です。

しかし、収量が少なく、水温17℃以上の地域に栽培が限定されます。そこで、商品性は主力の「グリーンゴッデス」、収量と地域適応性は白系多収品種「熊本FC01」と同程度以上を備えたグリーン系品種の育成に取り組みました。

### 問 優れている点や特性は？

- 答 ① 農産園芸研究所と阿蘇市にある高原農業研究所ともに、発色は期間を通して安定し、「グリーンゴッデス」より①苞（花にみえる部分）がひとまわり大きく、②苞の重なり部分の高さが高く、③緑色部位が濃くなります。
- ② 「グリーンゴッデス」および「熊本FC01」の採花が極めて少ない月、具体的には、農産園芸研究所では7月および11月、高原農業研究所では9月にも収穫が可能であり、実質的な収穫期間が延び、収穫期間中の収量が平準化します。その結果、収量は「グリーンゴッデス」より多く「熊本FC01」と同程度となります。
- ③ 農産園芸研究所よりも水温・気温が低い高原農業研究所でも安定した品質・収量が得られることから、地域適応性は「グリーンゴッデス」より広く、「熊本FC01」と同程度であることが見込まれます。

### 問 栽培または普及するうえで注意する点は？

- 答
- ・ ほ場に水を、周年かけ流すことが必要です。
  - ・ 漏水しない、風当りおよび西日が強くないほ場が、栽培に適します。